

授業概要

レクリエーションについて概要を知る。レクリエーションという言葉の発祥の意味を知り、日本の中でどのような歴史を経過して現在のレクリエーション観を国民が持っているのかを知れるよう講義する。そして 21 世紀における社会のニーズに即したレクリエーションの必要性について知り、これからの社会を担うであろう子どもたちに対して、楽しいレクリエーション活動支援とは何かを知り、次世代を生きていく子どもたちにその楽しさを伝える方法を体得する。

授業計画

第 1 回	レクリエーションとは何か
第 2 回	福祉レクリエーションとは何か
第 3 回	セラピューティックレクリエーションとは何か
第 4 回	楽しさをとoshita心と体の元気づくりと対象の心の元気
第 5 回	楽しさをとoshita心の元気づくりの理解
第 6 回	ライフステージと心の元気づくり
第 7 回	子どもや高齢者の心の元気づくり
第 8 回	障がいがある人のこころの元気づくりと課題
第 9 回	心の元気と地域のきずな
第 10 回	コミュニケーションと信頼関係づくりの方法 良好な集団作りの理論
第 11 回	心の元気と地域のきずな 外部または校内にて 実学体験
第 12 回	こどもを育む地域のきずな 外部または校内にて 実学体験
第 13 回	高齢者を支える地域のきずな きずなとレクリエーション 外部または校内にて実学体験
第 14 回	自主的 主体的にレクリエーション活動楽しむ力 外部または校内にて 実学 体験
第 15 回	まとめ
第 16 回	試験

到達目標

- ・レクリエーションについて理解できる
- ・レクリエーション活動について理解できる
- ・今までのレクリエーションの歴史について理解できる
- ・次世代を生きる子どもたちになぜレクリエーション活動支援が必要なのか知ることができる。

履修上の注意

自ら積極的に授業に参加をする。
毎回 前回の復習をしておくこと。
実際に 土日のどちらかで 外部での演習の実際（日程は履修生と合議）外部演習参加費用は 千円程度

予習復習

予習については授業の最後に提示をします
復習については各自ふりかえりをしておいてください

評価方法

授業に望む姿勢(25%)
提出物(25%)
最終レポートの提出(50%)

テキスト

その都度配布 及び授業内にて 参考図書の紹介をおこなう